

阿賀野市有機農業推進協議会

25

① 取り組みの体制

阿賀野市との連携・協力のもとで未利用有機質資源を利用した資源循環型の有機農業を推進

② 取り組みの主な内容

- ・耕畜連携による地域内での有機資源の循環
現在は全作付け面積の60%で、ゆうき子(堆肥)散布を実施
- ・特色ある販売体制の構築
慣行栽培を「あたり米」(5割減減)に切替え、全面積が減減・有機の栽培となる、こだわり米の販売を構築
- ・食育と環境調査の実施
消費者との交流による食育と生き物調査による安全・安心の信頼性を確保

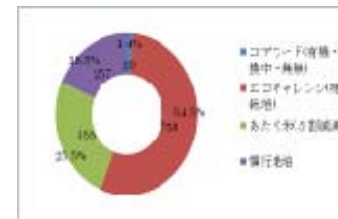
③ 生産概要

- 農業生産物の内訳
米 1,380ha(うち有機栽培 18.1ha)
- 協議会の農業者数
現在は有機農業者34人 目標(平成25年度)59人
- 協議会の売上
現在は3,334t 目標(平成25年度)5,820t
- 農産物の主な取引先
生協・加工実需者ほか

④ 有機シンポと生き物調査



○作付け動向



○消費者との交流(田植・草取)



⑤ 協議会代表の一言

笹神地区では早くから消費者との交流に取り組み、平成2年の「有機の里」宣言にともない堆肥散布による土づくりと環境保全型農業を実践してきました。昨年、地域の「瓢湖」がラムサール条約の登録湿地になったことから平成21年より米の慣行栽培を無くし、全作付け面積を有機や減減栽培にすることを目標としました。今後はさらに環境に配慮した有機農業の拡大が求められています。

⑥ 連絡先:新潟県阿賀野市山崎58番地(JAささかみ)

電話:0250-62-2410 FAX:0250-62-1426

担当者: 田中政喜 Eメール:m-tanaka@ja-sasakami.or.jp